

物理学第二分野 修士論文発表会ご案内

下記の通り、修士論文発表会を開催します。

日時:2024年2月5日(月)6日(火)
場所:理学研究科5号館 525号室
発表時間:15分+5分(質問)

発表の順番、研究題目は下記のとおりです。

2月5日(月)

- カーチ・ランドールブレインのホログラフィックコンプレキシティへの寄与 石井 孝典 (9:00)
- 恒星フレアの多波長観測による大規模プラズマ噴出の発見 井上 峻 (9:20)
- 高速パルス磁場を用いた ^{57}Fe 核スピン操作の放射光核共鳴散乱による測定 太田 英寿 (9:40)
- 水-ニュートリノ反応の精密測定に向けた水ベース液体シンチレータ飛跡検出器の開発 恩田 直人 (10:00)
- 《 休 憩 》
- von Neumann代数を用いた無限次元量子誤り訂正としてのバルク再構成 神田 大樹 (10:30)
- 平坦背景におけるメタ弦の量子化 京 鴻一 (10:50)
- スカラー・テンソル理論におけるブラックホール摂動の有効場の理論に基づく解析 小林 元 (11:10)
- 境界上に局在するスカラー場によるAdS/BCFT対応の一般化 佐藤 政秀 (11:30)

《 午 後 》

9. JT重力とアイランド 繁村 知宏 (13:30)
10. グザイバリオン分光実験に用いるビーム粒子識別用リングイメージングチェレンコフ検出器の開発 鈴木 翔太 (13:50)
11. S-2Sを用いた Ξ ハイパー核分光のためのK中間子識別手法の開発 高橋 秀治 (14:10)
12. ダークフォトン探索に向けた広帯域分光計の開発と評価 竹内 広樹 (14:30)
13. 場の理論における一般化対称性 田中 隆寛 (14:50)

《 休 憩 》

14. 酒井-杉本模型におけるバリオンのエネルギー運動量テンソルおよびD-termの数値解析 塚本 大智 (15:30)
15. T2K 実験ニュートリノ検出器SuperFGD のための信号読み出し検査システムの開発と運用 對馬 拓実 (15:50)
16. An algebraic approach to gravitational entropy 土井 一輝 (16:10)
17. SU(3)格子QCDを用いたDimensional ReductionゲージにおけるQCDの低次元的性質の解析 當銘 啓 (16:30)

2月6日(火)

18. 降着型パルサーにおける軟X線超過と低電離鉄輝線の系統的なスペクトル解析 永井悠太郎 (9:00)
19. J-PARC E16 実験におけるRAM機能を用いたDAQシステムの改良 長房俊之介 (9:20)
20. TA実験およびTALE実験による高エネルギー宇宙線の到来方向大角度異方性探査 難波 宏樹 (9:40)
21. 反対称化分子動力学法及び陽子拘束を用いた ^{12}Be の励起状態の構造研究 長谷川 稜 (10:00)

《 休 憩 》

22. ニュートリノを伴わない二重ベータ崩壊探索に向けた高圧XeガスTPC AXELの電離信号読み出し面の改良 疋田 純也 (10:30)
23. 重力崩壊型超新星の上限質量制限に向けた超新星残骸 G359.0-0.9 の観測研究 松永 海 (10:50)
24. 弦理論によるSpecies Boundの検証 道信 祐吏 (11:10)
25. 宇宙の大規模構造の観測から探る原始密度ゆらぎの統計的非等方性:銀河の固有形状を組み合わせた検出精度向上の可能性 湊 恵太 (11:30)

《 午 後 》

26. 断熱進化によるコンパクトなボゾンスターの形成の可能性 宮内 侑 (13:30)
27. 超伝導検出器MKIDの薄膜純度向上及び高感度化を目指した製作と性能評価 武藤 優真 (13:50)
28. ESPRI+実験に向けたGAGG(Ce)カロリメータの波形解析による粒子識別新手法の開発 矢野 隆之 (14:10)